

くろぎたいはむ

松江赤十字病院広報誌 第41号 (2012年夏号)



■病院理念 松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

本館(低層棟)オープン

院長 恭 公平

足かけ6年かけてようやく、新病院の建物が完成し、6月15日オープンしました。同時にヘリポートの使用も許可され、6月18日に開港式を行いました。

新病院は地元の方のご希望に従う形で、現住所に壊しては建てを繰り返してできあがりでしたが、進歩した現在の医療をまかなうにはやや手狭な感じは否めません。患者さんやそのご家族には診察室や待合など、窮屈に思われるのではないかと思いますがお許し下さい。また、近所の皆様方には救急車のピーポールの音に加えて、ヘリコプターの騒音が加わり、ご迷惑をおかけすることと思えます。こちらもうる容赦下さい。

さて、当院でも医師不足は続いています。先日当院の救命救急医の減少が報道されましたが、救急に限らず、どの科も医師が足りているという状態ではなく、勤務医の長時間労働や、それに伴う疲労が問題になっています。医師業務補助者(トクタクラーク)を入れて業務の軽減を図っていますが、十分ではありません。特に救急外来は各科が交代でカバーせざるを得ず、大きな負担になっています。

そこで、医師の負担軽減を意図して、初診時や救急受診時の選定療養費(紹介

状のない初診患者さんや軽症の救急外来患者さんからいただく診療報酬以外の料金)をこのオープンにあわせて4200円へ上げさせていただきます。

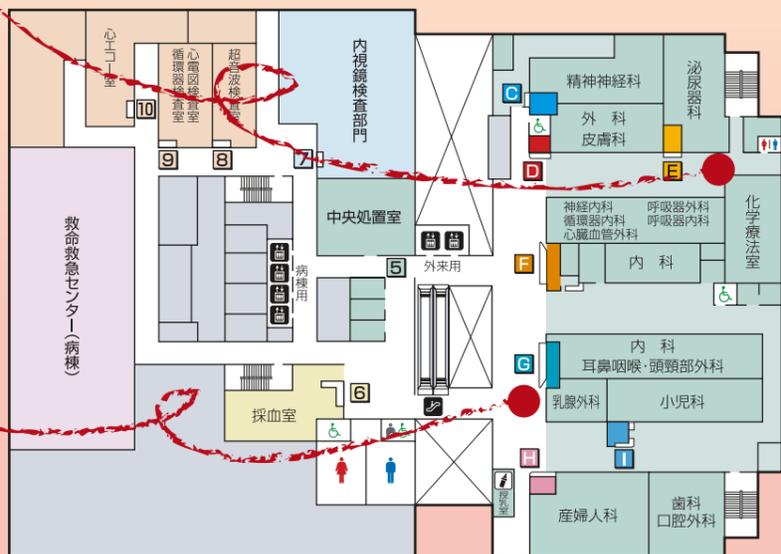
是非、かかりつけ医を作っていただいで、まずその先生に何でも相談し、詳しい検査や入院治療が必要であれば当院を紹介していただくということを基本にしていきたいと思えます。職員一同、医療の質を上げるために、引き続き努力するつもりでありますので、皆様方のご理解と御協力をお願い申し上げます。



本館オープン!

新しい建物で外来スタート！ 新病院建物の名前が決まりました。

低層棟 → **本館** → 高層棟 → **高層館**



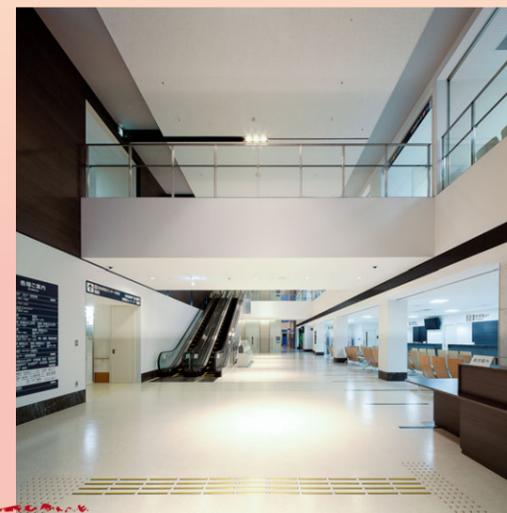
2F



1F

総合窓口では、入院受付、初診、計算、お支払い、文書受付、おくすりの窓口を1つにまとめました。また、総合窓口の向かい側には、再来受付機、保険証確認を配置し、患者さんの動線に配慮しました。

2階へのエスカレーターと再来受付機



正面玄関入り口



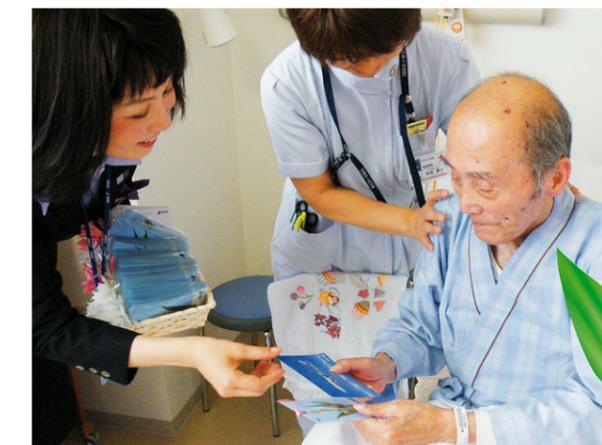
化学療法室は5床から10床へ増床となりました。今回の移転に伴い、患者さんにより快適な環境で治療を受けて頂くためにリクライニングチェアを導入しました。今後は多くの患者さんを受け入れる体制作りを行うとともに、ご満足いただける治療を提供していく所存です。



従来の外来受付は、診療科ごとに受付がございましたが、業務の効率化を図るため、受付を9つのブロックに分けました。患者さんに分かりやすくご案内できるように、各ブロック受付はアルファベットの名前と色で区別しました。

6月8日、全日空の方から「すずらん」の贈呈がありました。今回で57回目数を数え、日赤名誉副総裁の高松宮様が入院患者を励ますために「しあわせ」の花言葉をもつ「すずらん」を贈られたことが由来です。

すずらん贈呈



NICUは新生児集中治療室と呼ばれる赤ちゃんの集中治療室です。私たちの病棟には、早産児、低出生体重児など様々な理由で治療が必要な赤ちゃんが入院されています。赤ちゃんは話すことができません。私たちは、赤ちゃんのしぐさ、表情、全身観察などから赤ちゃんが何を感じているのかそのサインをくみ取り、一人一人個性の違う赤ちゃんに合わせた看護ケアを実践できるように日々努力しています。



6階東(小児)病棟は20床を持つ病棟です。小児科の風邪をひいている子どもをはじめ、形成外科、耳鼻科、整形外科など様々な科の手術などを目的とした子どもが入院しています。病棟内はキャラクターや動物の掲示物や人形を置き、少しでも入院生活の恐怖心をなくして快適に過ごし、安心して治療を受けることができます。ような環境づくりを心がけています。スタッフや医師もみんな優しく、明るく、雰囲気の良い病棟です。

6階西(産婦)病棟です。現在5名の産科医師、25名の助産師・看護師スタッフがいます。松江・安来・隠岐の皆さまが安全に安心して妊娠・出産・育児期を過ごしていただけるようお手伝いしています。「こんなお産・育児がしたい」というお一人お一人の思いが達成できるよう、助産外来・母乳外来も開設しています。多くのお母さんと赤ちゃん、新しいいのちを迎えるご家族の笑顔のために日々頑張っています。



病棟紹介 周産期・小児センターです

こんにちは、

「味が良いからアジ」

栄養課調理師 奥野 将徳

日本では古来より重要な食用魚として漁獲されており、日本全国で漁獲されるアジ。アジにはマアジ、

シマアジ、マルアジ、ムロアジなどの種類がありますが、一般的なのはマアジ。周年出荷していますが、特に美味しいのが産卵前の時期で、産地によって多少違いがありますが初夏の頃が旬。



新鮮なアジは刺身のほか、たたきやなめろうなどにすると美味しいです。また、塩焼きやフライなどもおすすめです。えらが鮮やかな紅色で、目が澄んでウロコがピカピカに光っているものを選びましょう。マアジには「黄アジ型」と「黒アジ型」があります。黄アジ型はい

わゆる「根つきのアジ」で、一か所に居ついたものを言います。小ぶりですが脂がのって旨味も強いです。一方、やや深い場所で回遊する黒アジ型は黄アジ型より漁獲量が多いものの、脂が無く、旨味に欠けます。しかし、アジ

などの青魚にはDHAやEPAが非常に豊富に含まれています。リーズナブルな価格で美味しいので下処理や調理法を工夫し、ぜひ食卓のレギュラーにしたいものです。



僕は鯉のぼり 7階西 呼吸器センター

5月11日(金)、7階西呼吸器センターで鯉のぼり祭りがあったんだ。僕は鯉のぼり。ワタル君が産まれた時にお祖父さんがとっても喜んで、僕をワタル君の所に連れて来てくれたんだ。それがある日、大空ではなく病院のサテライトキッチンに飾られたのでビックリ！どうやらリハビリと7階西呼吸器センターのスタッフとで協力して、入院患者さんのために鯉のぼり祭りを企画しているらしい。準備をしながら看護師さん達は、こんな検討をしていた。「入り口が混雑しない様に、ステージの位置を正面にしよう」「サテライトキッチンの椅子を片付けて、沢山の椅子が入れるようにしよう」「体操や歌の他にも、患者さんへの楽しみがあると良いね…。スイーツはどうだろう?」そんな訳で、栄養課へも相談してみることになったんだ。

①季節感を出したい②高齢の人が多いため飲み込みやすい食べ物にして欲しい③糖尿の患者さんもあるのでカロリー制限がある。そんな難しい注文にもさすがプロの栄養士さん達は頑張つて、何種類ものムースやゼリーを作ってくれた。当日、和やかな雰囲気でもリハビリスタッフの鯉のぼり体操が始まり、病棟スタッフの歌の演奏や研修医の体を張った体操にも拍手と笑い声で応えてくれて、僕もホッと一安心。そしてスイーツをお配りすると…。歓声を上げて大喜びしてくれたよ!「是非レシピが欲

しい!」と予想外の反響に、スタッフの方が慌てていたね。僕と記念撮影をした患者さんもいて、1時間の会は賑やかに終了したんだ。後で参加した患者さんから「本当に楽しい時間を過ごさせて頂き、身も心も動かされて芯から満足いたしました」と手紙を貰ったよ。あの会に集まっていた人達が少しでも笑顔と楽しさを感じてくれたのなら、僕はとっても嬉しいよ。ところで会が終わった後、看護師さんは「次の8月は夏なので、水着でやろう!」って言うていたけど、本当?



5月 introduce

採用医師紹介

Hello Doctor

麻酔科

丹藤 陽子

麻酔科の丹藤陽子と申します。今年の3月まで東京で勤務していましたが、この度、縁あって松江で働くことになりました。これまでの経験を生かし、少しでも松江赤十字病院の力になれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



+ 松江赤十字病院『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただくことが必要です。」
このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報と秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。